

農業委員会だより

むらかみ

No. 15

令和4年1月



農業委員会
ホームページ



向ヶ丘保育園 芋掘り

6月に植えた苗がたくさんのお
大きなサツマイモになりました。
いっぱい掘れたよ (^▽^)/

新年ごあいさつ



村上市農業委員
会長 石山 章

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、健やかに新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス
感染症に翻弄され、我慢と変化が求めら
れた年でした。農業分野においても、新型コ
ロナウイルス感染症の影響により需要が減
少し2年連続で米価が下落する中、日照不足
などで登熟が進まなかったことで、収量を示
す作況指数が全国最低となるなど農業者に
とって大変厳しい年となりました。

本年の干支の「壬寅」は「陽氣を孕み、春
の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹き
は生命力に溢れ、華々しく生まれることを表
しているとされており、物事の成長が期待で
きる年だそうです。コロナ禍を契機として、
社会全体がこれまでの常識が変わるニュー
ノーマルの時代を迎えようとしており、今年
がポストコロナに向けて大きく動き出す重
要な年になると思います。

農業委員会では、村上市の農業が持続可
能な産業となるよう、また、地域の農業者が
将来に夢と希望を持って農業に取り組める
よう、前例に囚われないことなく活動してい
ますので、皆様のご協力をよろしくお願
いいたします。

結びに、一刻も早い新型コロナウイルス感
染症の収束を願うとともに、皆様のご健康と
ご多幸をお祈りし、新年の挨拶といたします。

意見交換会

農業女子会



会場となったカフェ & ダイニング Dayis (デイス)さんの地元産食材を使ったスイーツをいただきながら

令和3年11月24日、市内の女性農業者6名にお集まりいただき、農業についての意見交換会を行いました。本間・村山農業委員がコーディネーターとなり、様々な意見をお聞きする事ができました。

本間委員 まずは女性が農業に関わることによるメリットをお話しします。

本間さん 調整や選別などの作業では女性のほうが商品としての出来上がりがきれいだったりと、女性の目が入ったほうが良いと感じていました。スーパーなどに行く頻度も多いので、どうしても消費者が手に取ってくれるか?という目線で見れる。

中村(麻)さん こちらは苗が主で男性も女性も遠くまで配達しているのですが、どちらの力も必要です。

鈴木さん

農業は力仕事も多いので、男性の力も必要。梱包は手先が器用な女性がスムーズで良いですね。男性・女性の半々ぐらいの力が必要かな。

村山委員 器用な男性もたくさんいらっしゃるけど、女性の方が『もったいない』と思う感覚がより強くなりますよね。

齋藤さん そつななんです!十分食べられる規格外をひと手間かけて人にあげたりしています。

本間委員 それぞれ環境は違いますが慣れるまでどうでしたか?農業を選んだきっかけはどうですか?

本間さん 小さい頃から祖父母が田んぼをやっていたので、父も楽しそうにやっていたので小さいという印象はなく、女性が農業を仕事にしないという理由はないかな?と想っていました。ただ体力面や結婚、出産、子育てのことを考えると継続して続けられる職業ではないと思いつ。

中村(恵)さん 非農家でしたが進路で悩んでいたころ、おばあちゃんが作るメロンやトマトがとても美味しくて、自分も美味しいものを作って人を笑顔にしたいと思い、今は野菜を育てるのが楽しいと思っています。

村山委員 作ったものが良くてきたりすると、疲れていても、やったーという達成感からなのかな、やめられませんかよね。



新規就農者支援制度などについて語る

齋藤さん ハウスにいると集落の人が声をかけてくれて、それが楽しみなってます。

本間委員 行政に関する希望、ご意見は何かありますか?

本間さん 新規就農の補助制度(年間150万円)はあるけれど、10年の縛りなどありなかなか難しい。10年の間に生産などで休めばその分延長しなければいけないし、家族の理解も必要だ。女性には非常に使いにくい制度なので、もっといい制度があれば良い。短期の縛りや、他で勤めていても使える制度なども。

大倉さん 経営が良くなっていかないうと、補助打ちりなどもあるので厳しいですね。

本間委員 未来の農業について一言。
中村(恵)さん こういった意見交換会がもっと増えればよいと思います。

本間さん 潜在的に農業をやってみたくて思っている人もいると思うので、男女問わず楽しそつだな、入りやすいな、と見えるようになればいいなと思います。

村山委員 少しでも悩みや環境改善について、こういう会で話すことができ、こちらでも力になれることがあればと思っています。



後列左から、村山委員、本間委員、鈴木さん、齋藤さん、中村(麻)さん
前列左から、中村(恵)さん、大倉さん、本間さん



抜粋で掲載しております。続き、参加者詳細は農業委員会ホームページの特集サイトをご覧ください。

きらり輝く学校

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

9月15日、GLOBAL G.A.P. 認証公開審査が行われ、農業森林系列 作物班の3年生7名を中心に審査を受けました。

当日は、現地参加及びオンラインでの参加がある中、書類及び実習棟の審査に加えて岩船実習農場では稲の刈り取り審査も行われました。

審査の結果、県内農業高校としては、初の「コム」のGLOBAL G.A.P. 認証を取得したそうです。

それを機会に、ふるさと納税返礼品に丹精込めて作ったお米が採用(好評につき受付終了)され、webサイトに掲載する画像デザインやPR文書の作成、直筆メッセージつきの商品発送を行うなど、実践的教育活動と一体化した取り組みを行っているそうです。

今後も生徒のさらなる活躍が期待されます。



認定証を手に、審査を受けた生徒7名と校長先生

老後の備えに・・・

農業者年金に加入しませんか？



3つの要件を満たせばどなたでも加入できます

- ①年間 60 日以上農業に従事する人
- ②国民年金の第1号被保険者（保険料免除者を除く）
- ③ 20 歳以上 60 歳未満の人

ポイント1 少子高齢時代に強い

積立方式の確定拠出型年金ですので、加入者・受給者数の増減に影響を受けない安定した制度です。

ポイント2 保険料は自由に選べる

月額2万円から6万7千円までの間で自由に選択ができ、いつでも変更できます。また、令和4年1月から、35歳未満の人は月額1万円からでも加入できるようになりました。

ポイント3 安心で豊かな老後を

生涯受け取ることができる「終身年金」です。80歳前に亡くなられた場合でも、ご遺族に死亡一時金をお支払いします。

ポイント4 大きな節税効果！

自ら支払った保険料は、全額が社会保険料控除となり、節税につながります。

ポイント5 一定の条件を満たせば国庫補助が受けられる

一定の条件を満たした農業の担い手は、最大1万円の保険料補助を受けることができます。

詳しくは農業委員会にお問い合わせください。

活動報告

令和3年6月～令和3年12月

定例総会

報告案件	
4条届出	3件
非農地証明	23件
審議 案件	
3条	17件
4条	1件
5条	33件
基盤法	408件

農政振興部会

農業施策等に関する意見書の提出
 農政懇談会への要望検討
 市長・議長へ意見書の提出

農地調整部会

転用現地確認
 農地転用許可基準の検討
 遊休農地の実態把握
 農地の利用状況調査

広報部会

農業委員会だよりの編集

永年勤続者表彰 10年以上



令和3年11月22日、農業委員会大会において表彰されました。
 左から 本間裕一、齋藤文夫、稲葉浩之、佐藤健吉、齋藤裕助、遠山久夫、木村壽一

▲農地転用には許可が必要です▲

！農地の違反転用は絶対にしてはいけません！

●農地を農地以外にする（農地転用）場合、許可が必要です

- 住宅を建てる
- 農業用施設を建てる
- 太陽光発電設備を設置
- 資材置場や建設残土捨て場にする

●転用の許可方法は2種類あります

【農地法第4条】農地の所有者自らがその農地を転用する

【農地法第5条】農地の所有者から農地を買う、又は借りて転用

※無断転用や計画どおりに転用していない場合、現状回復命令違反は農地法に違反し、懲役・罰金などの罰則の適用があります。

農地の賃貸借料について

◎両者の話し合いで決定してください◎

農地を貸し借りする際の賃借料は、貸人と借人の両方で十分話し合いのうえ決定してください。

また、すでに全世帯へ配布した賃貸借料情報については、法律などで定められた金額ではなく、あくまでも話し合いのための参考金額です。



大好きなブドウに思いきり手を伸ばす、そんな姿にジイジが思わずパチリ！



平林小学校の稲刈り風景。5年生がカマでの手刈りに挑戦しました。



黒田集落のかかしまつり、2021年に日本で開催のあの世界的イベントがかかしまつりに！

農の フォトギャラリー



小川小学校と桜ヶ丘高校の米作りを通したはじめての交流会。クイズで盛り上がりました。



桃川集落で見事なはさがけの風景が見られました。この「はさがけ米」として販売されています。

あとがき

今号も、取材・編集にご協力いただきながら発行することができました。ありがとうございました。

高齢化や耕作放棄地対策など課題はたくさんありますが、みなさんからの「おいしい」「がんばって」の言葉が農業者の励みになっています。この農業委員会だよりを通して、村上市の農業者が取り組んでいることや困っていることなどを市民の皆さんにお伝えできれば幸いです。

農業に関するご相談やご意見などは、お気軽に農業委員会までご連絡ください。

広報部会員 高橋

広報部会長

大野 章

広報副部会長

遠藤 俊樹

広報部会員

高橋 大亮
田村 昭一

発行

村上市農業委員会 広報部
新潟県村上市岩船駅前56番地

TEL 0254-66-6120 (直通)
FAX 0254-66-6110

ホームページアドレス
メールアドレス

http://www.city.murakami.lg.jp
no@city.murakami.lg.jp